

Maxsil™ S7

耐熱性透明絶縁膜コーティング液

特長

- Si-O-Si 結合を主鎖にもつ非シリコン系の熱硬化性有機シロキサンポリマー溶液です。
- 卓越した耐熱性(320℃空气中, 450℃不活性雰囲気/窒素中)
- 優れた透明性 (98%以上)
- 優れた絶縁性
- 優れた耐薬品性
- ガラスとの強固な密着
- ガラスに近い屈折率(1.53)
- リフロー効果による高い平坦性と溝埋め込み性

応用例

- ガラス・金属基板の絶縁アンダーコートと平坦化
- プラズマ/FED ディスプレイやパワー半導体用高性能耐熱絶縁膜

使用方法

基板洗浄→塗布（スピコート/スリットコート）→プリベーク(150℃ x 3 min)→キュアベーク(280～300℃ x 30 min, 大気または窒素中)

特性表

主溶剤	PGMEA	密着性	ガラス	5B (100%剥がれ無)
固形分量	30～60 wt% (調節可)		Si	5B (100%剥がれ無)
薬液寿命	6 ヶ月 (4℃保存)		SiN	5B (100%剥がれ無)
粘度(20℃)	～100 mPa·s (50 wt%品)	薬液耐性	PGMEA	変化なし
最大膜厚	200 μm		DMSO	変化なし
屈折率	1.53 (typ.) @ 550 nm		MEA	変化なし
透過率	98～100% (400～800 nm)		TOK106; 60℃	変化なし
鉛筆硬度	< 6B		3.5% 蔘酸; 35℃	変化なし
リーク電流密度	< 20 nA/cm ² @ 1 MV/cm	耐熱性	2.38% TMAH; 20℃	変化なし
絶縁耐圧(電界強度)	～ 4.6 MV/cm @ 1 μA		250→450℃	< 0.1 wt%
誘電率	2.9		450℃ 30 min	< 1.4 wt%

開発・製造元

マックス電子材料株式会社
Info@maxelm.com